



相 続 税 の 申 告 書 第 6 表

未成年者控除額・障害者控除額の計算書

												被相続人		E01																			
1 未成年者控除 （この表は、相続、遺贈や相続時精算課税に係る贈与によって財産を取得した法定相続人のうちに、満18歳 ^(注) にならない人がいる場合に記入します。）																																	
未成年者の氏名			E02						E03						E04					計													
年齢 （1年未満切捨て）		①	G01					歳		G02					歳		G03					歳											
未成年者控除額(円)			②	10万円×(18歳 ^(注) －				G04				歳)		10万円×(18歳 ^(注) －		G05				歳)		10万円×(18歳 ^(注) －		G06				歳)		G10			
				＝		G07						＝		G08						＝		G09											
未成年者の第1表の (⑨+⑪-⑫-⑬)又は (⑩+⑪-⑫-⑬)の 相続税額(円)			③	G11						G12						G13						G14											
(注) 1 令和4年3月31日以前は「20歳」となります。 2 過去に未成年者控除の適用を受けた人は、②欄の控除額に制限がありますので、「相続税の申告のしかた」をご覧ください。 3 ②欄の金額と③欄の金額のいずれか少ない方の金額を、第1表のその未成年者の「未成年者控除額⑭」欄に転記します。 4 ②欄の金額が③欄の金額を超える人は、その超える金額（②－③の金額）を次の④欄に記入します。																																	
控除しきれない金額 (円)（②－③）			④	G15						G16						G17						㊤		G18									
(扶養義務者の相続税額から控除する未成年者控除額) ㊤欄の金額は、未成年者の扶養義務者の相続税額から控除することができますから、その金額を扶養義務者間で協議の上、適宜配分し、次の⑥欄に記入します。																																	
扶養義務者の氏名			E05						E06						E07					計													
扶養義務者の第1表の (⑨+⑪-⑫-⑬)又は (⑩+⑪-⑫-⑬)の 相続税額(円)		⑤	G19						G20						G21					G22													
未成年者控除額(円)			⑥	G23						G24						G25					G26												
(注) 各人の⑥欄の金額を未成年者控除を受ける扶養義務者の第1表の「未成年者控除額⑭」欄に転記します。																																	
2 障害者控除 （この表は、相続、遺贈や相続時精算課税に係る贈与によって財産を取得した法定相続人のうちに、一般障害者又は特別障害者がいる場合に記入します。）																																	
			一般障害者								特別障害者						計																
障害者の氏名			E08						E09						E10																		
年齢 （1年未満切捨て）		①	G27					歳		G28					歳		G29					歳											
障害者控除額(円)			②	10万円×(85歳－				G30				歳)		10万円×(85歳－		G31				歳)		20万円×(85歳－		G32				歳)		G36			
				＝		G33						＝		G34						＝		G35											
障害者の第1表の (⑨+⑪-⑫-⑬-⑭) 又は(⑩+⑪-⑫-⑬- ⑭)の相続税額(円)			③	G37						G38						G39						G40											
(注) 1 過去に障害者控除の適用を受けた人の控除額は、②欄により計算した金額とは異なりますので税務署にお尋ねください。 2 ②欄の金額と③欄の金額のいずれか少ない方の金額を、第1表のその障害者の「障害者控除額⑮」欄に転記します。 3 ②欄の金額が③欄の金額を超える人は、その超える金額（②－③の金額）を次の④欄に記入します。																																	
控除しきれない金額 (円)（②－③）			④	G41						G42						G43						㊤		G44									
(扶養義務者の相続税額から控除する障害者控除額) ㊤欄の金額は、障害者の扶養義務者の相続税額から控除することができますから、その金額を扶養義務者間で協議の上、適宜配分し、次の⑥欄に記入します。																																	
扶養義務者の氏名			E11						E12						E13					計													
扶養義務者の第1表の (⑨+⑪-⑫-⑬-⑭) 又は(⑩+⑪-⑫-⑬- ⑭)の相続税額(円)		⑤	G45						G46						G47					G48													
障害者控除額(円)			⑥	G49						G50						G51					G52												
(注) 各人の⑥欄の金額を障害者控除を受ける扶養義務者の第1表の「障害者控除額⑮」欄に転記します。																																	